

イェス クリーン マイ
北石狩 YES! clean 米生産部会



これからの農業を
見据えた取り組みを



昨年、発売した甘酒「父ちゃんもう一本」(左)
オリジナルブランド米の「父ちゃんもう一俵」(右)

当別町の基幹産業は「農業」です。豊富な種類の穀物・野菜などが生産されていますが、私たちの主食となる「米」も管内有数の生産量を誇っています。今回はその「米」から農業を元気にしようと活動している北石狩 YES! clean 米生産部会(稲村英樹部会長)にお話を伺いました。

全道的な取り組み

平成3年に北海道が全国に先駆けて提唱したクリーン農業(環境保全型農業)とは、農薬や化学肥料の使用を最小限に抑えながら、たい肥等の有機物を使用することにより、環境に配慮しながら安全・安心な農産物の生産を目指す取り組みで、今では各市町村で進められています。当時、農協青年部の副部長をしていた私が「当別町でもクリーン農業をやってみよう」と同じ青年部で賛同してくれた仲間と、2年間試行として取り組んでみたのが始まりです。実際のところ稲の

病気や害虫問題も予想より少なく「これならやっていける」と思いました。現在は、16名の生産者が部会員として同じ農業・肥料を使用し、互いに情報交換を行いながら米作りに取り組んでいます。

自信を持って生産

地産地消を推進したいという気持ちからこの取り組みを始め、認知度も少しずつではありますが上がっています。札幌市内の飲食店や小売店で取り扱っているほか、町内の飲食店2店舗で使用していますが、まずは町民の皆さんにも小売りし、地元の米を自宅で食べて欲しいという思いからオリジナルブランド米「父ちゃんもう一俵」を発売しました。希望されるお客さんには月に一度、ご自宅に配達もしています。もっと YES! clean 米の認知度を向上させたいと思い新たに甘酒も商品化しました。私たち生産者の思いとおいしい当別米をぜひ食べて感じていただけれ

ばと思いますし、今後 PR にも力を入れていこうと考えています。

農業を守りたい

後継者が減少している現実問題から、いかに当別の農業を守っていくかを考えた時に、農業者同士のつながりや情報共有を強めていくことが重要になると考えています。現在の取り組みはそのきっかけ作りともいえます。単純に生産・出荷をするだけの農業は厳しい時代を迎えつつあります。一步先を見据えて仲間と共に頑張っていきたいと思っています。また、町民の皆さんにもぜひ YES! clean 米を食べて私たちに応援していただけると嬉しいです。

「父ちゃんもう一俵」、「父ちゃんもう一本」は、JA 北いしかり本所(23-2530)、ふれあい倉庫(27-6600)にて購入することができます。

(1月20日取材)